

第6次高槻市総合計画 実施計画

(令和8年度～令和10年度)

令和8年2月
高槻市

実施計画の概要

1 趣旨

実施計画は、第6次高槻市総合計画の基本計画で示された方向性に沿って具体的な取組の推進を図るため、策定するものであり、「市民ニーズへの対応」と「健全財政の維持」を総合的かつ計画的に推進します。

2 主要事業

実施計画では、第6次高槻市総合計画の基本構想に掲げる将来の都市像の実現に向け、取り組むべき主要な事業（主要事業）を分野ごとに掲載します。本計画では、全分野の主要事業として、77事業を掲載しています。

3 計画期間

実施計画の計画期間は3年間とし、主要事業の進捗や社会環境の変化を踏まえるため、毎年度、策定します。
(本計画の計画期間は、令和8年度から10年度まで)

4 進行管理

各主要事業について、実績の振り返り（評価）を行った上で、計画を行うこととし、効果的・効率的な進行管理を行います。

5 実施計画の見方

- (1) 新規に実施する主要事業は「主要事業名」の前に【新】と記載することとしています。
- (2) 「概要」は、3か年の内容を含む、主要事業の概要を記載しています。
- (3) 「令和7年度実績（見込み）・評価」は、令和7年度の見込みも踏まえた実績とその評価を記載しています。
- (4) 「方向」は、「令和7年度実績（見込み）・評価」の内容を踏まえ、継続（引き続き、主要事業として取り組むもの）、拡充（拡充するもの）、縮小（縮小するもの）、完了（完了するもの）、通常（主要事業から通常の事業となり、以後掲載しないもの）、廃止（廃止するもの）、休止（休止するもの）のいずれかを記載しています。
- (5) 「令和8年度当初予算」は、令和8年3月市議会の提案額を記載しています。また、繰越額は現時点の見込み額を別途記載しています。
- (6) 「3か年の計画」の令和9年度及び10年度の欄は予定を記載しており、前年度から継続する場合は「継続」、未定の場合は「未定」、事業を実施しない場合は「—」を記載しています。

主要事業

1 都市機能が充実し、快適に暮らせるまち

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
1	富田地区のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 「富田地区交通まちづくり基本構想」を推進するため、地域が主体となる歴史的なまちなみの形成や維持に向けた取組に対して、富田まちなみ環境整備事業による支援を行う。 鉄道の高架化に向け、関係機関と検討を行いながら、大阪府に対し、事業化の要望を行う。 築年数が経過し老朽化が顕著となっている富田支所・富田コミュニティセンター・富田公民館の建て替えを行う。 富田地区の歴史を身近に感じながら、伝統芸能の歴史的・文化的価値を将来にわたって守り、継承・発展させていくとともに、市民が歴史と文化・芸能活動に触れ親しむ機会を提供するため、歴史文化施設の整備に取り組む。 富田地区まちづくり基本構想に基づき、多世代交流機能などを持つ新公共施設の整備に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 富田まちなみ環境整備事業の周知啓発を行った。 J R京都線の鉄道高架化については、事業費縮減手法の検討を行うとともに、大阪府に対して事業化検討の要望を行った。 富田地区においては、豊富な歴史・文化などを最大限に活かし、本市西部の都市拠点としてふさわしい、にぎわいあふれるまちづくりを進めることが重要であることから、地域全体を俯瞰した公共施設の再編・最適化、市有地の利活用による住環境の向上やエリア価値の向上などを検討することにより、富田地区の更なる活性化に向けた取組を推進するため、令和7年4月に「富田地区まちづくり庁内検討会」を設置し、取組方針等の検討を行った。 <p>⇒富田まちなみ環境整備事業については、更なる制度活用が求められることから、今後、支援の対象エリアの拡大を検討する。</p>	拡充	142,542	継続	継続	都市創造部都市づくり推進課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
2	新名神高速道路等の沿道まちづくりの推進	新名神高速道路の関連道路沿道地域において、地区特性に応じた計画的な土地利用への規制・誘導を図るため、地域が主体となったまちづくりの取組に対する支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・十三高槻線沿道については、協議会と本市が地域課題等に係る意見交換を行った。 ⇒大阪府の道路整備の動向を注視するとともに、道路整備の理解が得られるよう大阪府と連携して継続的に取り組む必要がある。 	継続	171	継続	継続	都市創造部都市づくり推進課
3	新駅設置と新たな市街地形成の検討	檜尾川以東の鉄道沿線において、新名神高速道路の供用や十三高槻線等の整備など周辺環境の変化を踏まえ、新駅設置の可能性と新たな市街地形成について検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・新駅設置の可能性と新たな市街地形成について、鉄道事業者や地域住民と意見交換を行った。 ⇒鉄道事業者と適切な役割分担の下、検討が行われ、今後についても継続した意見交換の必要性を確認できた。 	継続	88	継続	継続	都市創造部都市づくり推進課
4	景観形成資源の保全・創出	城下町エリアにおいて、良好な景観形成を図るため、城下町のまちづくりに資する建築物等の修景や団体活動への支援を行うことにより、城下町エリアに現存する町家等の景観形成資源の保全・創出を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・城下町らしさが感じられる建築物等について所有者へのヒアリングを行い、登録の了承が得られた対象について市ホームページで公表した。 ・城下町のまちづくりに資するものに対する支援を行うため、城下町エリアまちなみ環境整備事業を創設した。 ⇒城下町エリアに現存する町家等の景観形成資源の保全・創出に向け、市民意識の醸成を図る必要がある。 	拡充	4,796	継続	継続	都市創造部都市づくり推進課
5	公共施設のブロック塀等の撤去	大阪府北部地震により発生した学校施設におけるブロック塀の倒壊事故の教訓を踏まえ、公共施設における全てのブロック塀等について、計画的に撤去を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・3段以下のブロック塀を計画に基づいて撤去した。 ⇒一部、隣地所有者との協議に時間を要しているものがあるが、概ね予定どおり撤去は進捗している。 	継続	35,691	継続	継続	総合戦略部アセットマネジメント推進室ほか

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
6	民間ブロック塀等の撤去促進	安全安心のまちづくりを推進するため、ブロック塀等撤去工事補助制度の周知及びブロック塀等所有者への意識啓発を行い、道路や公園に面する民間所有のブロック塀等の撤去促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌やホームページ等によりブロック塀等撤去工事補助制度について周知するとともに、小学校の幹線通学路沿道のブロック塀所有者への戸別訪問を行った。 ・民間ブロック塀等の撤去について、78件の撤去補助を行った。（令和8年1月末日現在） ⇒危険なブロック塀等に対する関心を風化させないよう、更なる意識啓発を図る必要がある。	継続	26,000	継続	継続	都市創造部審査指導課
7	空家対策の推進	空家等対策計画に基づき、適切に管理されていない空家の改善を図り、市民の安全・安心の確保に努めるとともに、健全な空家については流通や利活用を促進するなど、本市の実情に即した効果的な空家対策を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民から改善要望があった市内の空家の所有者等に対して改善に向けた通知や情報提供を行った。 ・特定空家等又は管理不全空家等の所有者等に対して、改善に向けた助言・指導等を行った。 ・「空家の管理・活用セミナー」及び「マイホーム借上げ制度説明会」を開催した。 ・空家相談員の新規募集等を行った。 ⇒上記実績を踏まえ、引き続き総合的な空家対策を効果的・計画的に推進する必要がある。	継続	2,284	継続	継続	都市創造部住宅課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
8	市営住宅の建て替え	住宅確保が困難な世帯に対する住宅セーフティネットとしての機能の充実を図るため、老朽化する市営富寿栄住宅の建て替えを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・PFI事業者が行う2期住宅棟の建設及び既存入居者の移転支援により、新住宅棟への円滑な移転を推進した。また、残りの既存住宅棟の解体に着手した。事業実施については、入居者や近隣住民への配慮を行うとともに、PFI事業者が行う業務を適切にモニタリングすることで効率的かつ効果的な建て替え事業を推進した。 ⇒上記実績を踏まえ、引き続き効率的かつ効果的な建て替え事業を推進し、令和8年度に事業を完了させる。	継続	1,381,789	—	—	都市創造部住宅課
9	公共喫煙所のリニューアル	駅前等の公共喫煙所を密閉型にリニューアルすることで、快適な公共空間を創出する。 令和8年度 JR摂津富田駅（新設）	下記4か所に密閉型公共喫煙所のリニューアルを実施した。 ①JR高槻駅北側②JR高槻駅南側③阪急高槻市駅北側（北側・南側の2か所を北側1か所に統合）④市役所北側 ⇒引き続き、JR摂津富田駅北側に新設の整備に取り組む。	継続	30,225	—	—	都市創造部管理課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
10	幹線道路ネットワークの形成	道路の渋滞を解消し、交通ネットワークの利便性を高めるため、市内の道路ネットワークの骨格を形成する国道を始め、内環状幹線道路及び外環状幹線道路、都市間道路などについて、整備促進を要望するとともに、国・大阪府と連携して取り組む。 対象：国道171号交差点改良、（都）十三高槻線、高槻東道路（延伸部）、（都）牧野高槻線（渡河部）、（都）富田奈佐原線、（都）芥川上の口線、（府）大阪高槻線	【国】 ・南芥川町交差点の用地買収を実施した。 【大阪府】 ・富田奈佐原線の大畑町交差点以北約780m区間について、事業実施に向けて大阪府が事業認可取得の手続きを実施した。 【高槻市】 ・南芥川町交差点の用地交渉業務を国から受託し、用地買収を実施した。 ・富田奈佐原線の用地取得業務を大阪府から受託し、用地測量を実施した。 ⇒上記実績を踏まえ、引き続き国・大阪府と連携し整備促進に取り組む必要がある。	継続	89,591	継続	継続	都市創造部道路課
11	道路整備の推進	本市の交通環境の向上を図るとともに、市内の道路ネットワークを構築するため、市道の整備を推進する。 対象：（市）中小路津之江線	・大阪府と高西南交差点改良に向けた協議を実施した。 ⇒上記実績を踏まえ、引き続き計画的に事業に取り組む必要がある。	継続	0	継続	継続	都市創造部道路課
12	中心市街地の無電柱化の推進	良好な景観形成を確保し、通行空間の安全性、快適性及び道路の防災機能の向上を図るため、無電柱化を推進する。 対象：（市）大手八幡線、（市）野見八幡線、（都）高槻駅前線	・高槻駅前線の電線共同溝工事や支障物移設を実施した。 ・大手八幡線の電線共同溝工事や支障物移設を実施した。 ⇒上記実績を踏まえ、引き続き計画的に事業に取り組む必要がある。	継続	597,500	継続	継続	都市創造部道路課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
13	新名神高速道路の整備促進及び関連道路の整備	広域的な都市機能の一層の充実や産業の振興など、まちの活性化につなげるため、新名神高速道路の整備を促進する。また、新名神高速道路の整備に併せて地域振興等を図るため、関連道路の整備を進める。 対象：新名神高速道路、（市）萩之庄梶原線	<ul style="list-style-type: none"> ・NEXCO西日本・大阪府と連携して新名神高速道路の整備を促進した。 ・萩之庄梶原線の用地買収を実施した。 ⇒NEXCO西日本による工程精査等、今後の事業進捗について注視するとともに、引き続き、NEXCO西日本・大阪府と連携した取組が必要である。	継続	97,269	継続	継続	都市創造部道路課
14	J R高槻駅周辺の整備	関西将棋会館のオープンに合わせ、J R高槻駅西口地下通路の美装化や休憩施設の整備を行うとともに、北駅前広場を含めた中央口から西口までについても、「将棋のまち高槻」にふさわしい空間整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・J R高槻駅中央口から西口付近までの上屋整備に着手した。 ・J R高槻駅中央口下りエスカレーターの調査・詳細設計を実施した。 ・J R高槻駅西口ロータリーの改修に着手した。 ・歩道拡幅のための物件調査を実施した。 ⇒上記実績を踏まえ、引き続き関係部局と連携し、計画的に事業に取り組む必要がある。	継続	843,845	継続	—	都市創造部道路課
15	J R高槻駅南地区の再整備	J R高槻駅南地区では、中核市高槻の玄関口にふさわしい風格と魅力を備えたものとなるよう、市街地再開発準備組合による再整備に向けた取組を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいの創出や公共施設の在り方等に関して庁内調整を図るため、庁内連絡調整会議において、都市機能及び都市基盤の在り方について整理・検討を行った。 ⇒上記の検討内容を踏まえ、引き続き準備組合による再整備に向けた取組を支援する必要がある。	継続	23,152	継続	継続	都市創造部都市づくり推進課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
16	駅周辺公衆トイレのリニューアル	老朽化した駅周辺の公衆トイレにおいて、バリアフリー化と美装化を実施する。 対象：阪急高槻市駅、JR高槻駅西口、JR摂津富田駅北口	<ul style="list-style-type: none"> ・阪急高槻市駅前公衆トイレのバリアフリー化及び美装化工事を実施した。 ・JR高槻駅西口及びJR摂津富田駅前公衆トイレのバリアフリー化及び美装化に係る設計を実施した。 ⇒上記実績を踏まえ、引き続き関係部局と連携し、計画的に事業に取り組む必要がある。	継続	256,905	—	—	都市創造部道路課
17	水道施設・管路の耐震化・老朽化等対策	大規模災害時においても安定した給水を確保するため、水道施設の計画的な更新と合わせて、基幹管路・重要給水施設管路の耐震化に重点を置き、施設の強靱化を着実に実施する。 重要給水施設管路については、これまでの拠点病院及び救護所等に至る管路に加え、避難所である小中学校や福祉施設等に接続する管路についても、「上下水道耐震化計画」に基づき上下水道一体で耐震化に注力する。 また、更新基準年数を超過した管路、昭和52年までに布設された初期ダクタイル鋳鉄管路及び緊急輸送道路下に埋設された非耐震管路など、老朽化した管路の更新を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路、重要給水施設管路の耐震化、更新基準年数を超過した老朽管の更新などを行った。（総延長：約8.7km） ・老朽化した大冠浄水場配水ポンプ設備の更新など、施設の改修を行った。（令和6・7年度継続事業） ・櫛田浄水場に除濁設備を設置するとともに、取水施設の整備を行い、大雨時にも安定した浄水処理の確保を図った。（令和6・7年度継続事業） ⇒上記実績を踏まえ、引き続き計画的に水道施設・管路の耐震化・老朽化等対策事業に取り組む必要がある。	継続	1,103,627 ※他に前年度からの繰越あり (1,775,921)	継続	継続	水道部管路整備課、浄水管理センター、総務企画課
18	上下水道DX基盤の整備	新たな上下水道料金システムの令和9年度末の本稼働を目指し、国が推進する標準化システムの構築を着実に進めるとともに、業務の効率化に繋がるよう業務プロセスの見直しを行う。 また、ペーパーレス化の推進や時代に即したお客さまサービスの向上（お客さまポータルサイト、給排水工事の電子申請等）及び将来の安定経営に資するDX基盤の整備に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな上下水道料金システムの整備に当たり、公募型プロポーザル方式による事業者選定を行った。 ⇒令和9年度の新システム稼働に向け、計画的にシステム構築に取り組む必要がある。	継続	— ※令和7年度から令和9年度まで債務負担行為を設定 (500,000)	継続	—	水道部給水収納課、都市創造部下水河川企画課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
19	下水道施設の 老朽化対策・ 地震対策	老朽化や地震による排水機能の停止や道路陥没等の事故を未然に防ぐことを目的に「下水道ストックマネジメント計画」に基づく予防保全型の維持管理及び「下水道総合地震対策計画」、「上下水道耐震化計画」に基づく耐震化事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防保全型の維持管理として、管路施設の巡視点検及びカメラ調査を行った。 ・ 老朽化した管きよ、マンホールポンプを改築するための実施設計を行った。 ・ 老朽化した管きよ、マンホール蓋、取付管及びマンホールポンプ等の改築工事を行った。 ・ 高槻中一号幹線及び高槻東一号幹線の耐震化工事を行った。 ⇒「下水道ストックマネジメント計画」並びに「下水道総合地震対策計画」及び「上下水道耐震化計画」に基づき、整備を継続する必要がある。	継続	993,000 ※他に前年度からの繰越あり (449,000)	継続	—	都市創造部下水 河川企画課、下 水河川事業課

2 安全で安心して暮らせるまち

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
1	地域防災力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 防災講演会の開催などの各種啓発活動に加え、実災害を想定した防災訓練などの実施により、市民の自助・共助力を高めることで地域防災力の向上につなげる。 地域防災力の更なる向上を図るため、市民防災協議会の活動及び運営を支援する。また、各地区の防災活動のサポートや防災活動を担う人材の育成を本市と同協議会が協働で推進することで、各種組織・団体間の連携を強化し、より一層災害に強いまちづくり・人づくりに取り組む。 各地区における防災活動の活性化に向け、防災リーダーを育成する防災指導員講習を実施するなど、市民防災組織（地区防災会・自主防災会）の各種防災活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災講演会などの開催に加え、市南西地域で、地域住民主体の避難所運営などに取り組む「市民避難訓練」を実施するなど、市民の防災意識向上や災害対応力の強化に努めた。 市民防災協議会主催による堤・桜台地区等での防災ワークショップの開催や各地区における防災訓練の支援等を通じて、市民防災組織活動のより一層の活性化を図った。また、各地区における防災活動のサポートやその活動を担う人材育成を本市と同協議会が協働で推進することで、各種組織・団体間の連携を強化し、より一層災害に強いまちづくり・人づくりに取り組んだ。 <p>⇒引き続き、「自助」「共助」「公助」のバランスが取れた防災対策を推進し、今後起こり得る災害への備えを強化していく必要がある。</p>	継続	18,295	継続	継続	危機管理室
2	防災体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 大規模自然災害が発生しても「致命的な被害を負わない強さ」や「速やかに回復するしなやかさ」をもった強靱な地域をつくりあげる施策を推進していくため、国土強靱化地域計画（第2期）に基づく新たな防災施策等を推進し、更なる強靱なまちづくりを進める。 各種防災訓練の実施や高槻市職員の防災に関する人材育成方針に基づく体系的な職員研修等により、市職員の災害対応力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度から新たに運用開始する危機管理センターにおいて、大規模災害を想定した災害図上訓練を実施し、災害対策の中核拠点としての機能や役割を確認した。 高槻市職員の防災に関する人材育成方針に基づき、採用2年目及び3年目の職員を対象に、防災意識向上研修を実施した。 	継続	118,708 ※他に前年度からの繰越あり (17,117)	継続	継続	危機管理室

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
		<ul style="list-style-type: none"> 自然災害から市民の生命・財産を守るため、本市の災害対応力強化に向け、地域防災計画を始めとする各種防災に関する計画やマニュアル等を適宜見直す。 防災行政無線等の設備や各種情報発信ツール、災害情報共有システムの適正な運用管理などを行い、迅速に防災情報を伝達できる環境を保持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 国や府のガイドラインを踏まえ、南海トラフ地震臨時情報発生時における本市の対応マニュアルを作成した。 迅速に防災情報を伝達できる環境を保持するため、防災行政無線等の設備や各種情報発信ツール、災害情報共有システムの適正な運用管理を行った。 ⇒防災体制の充実・強化を図るため、各種災害対応マニュアル等を適宜修正する必要がある。また、災害時の多様な情報伝達手段については一定整っており、引き続き、市民に自ら積極的に情報を取得していただくよう周知する必要がある。					
3	危機管理センターの運用	災害時には、被害情報や対応状況を一元的に把握し、迅速な災害対策の決定や指揮命令を行う災害対策の中核拠点として、平常時には、VR映像を活用した災害疑似体験など、効果的な防災啓発・研修の拠点として活用する危機管理センターを基盤に総合防災力の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理センターの整備が完了した。 また、市民の防災意識の向上を図るため、平常時の活用方法を検討した。 ⇒今後起こり得る大規模災害に備えるため、危機管理センターを基盤に総合防災力の強化を図る必要がある。	継続	11,238	継続	継続	危機管理室
4	マンホールトイレの整備	大規模災害時における避難所生活者の心身の健康に配慮するため、「災害用トイレ対策基本方針」に基づき、指定避難所である小中学校等に設置するマンホールトイレの整備に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 赤大路小学校等6か所の実施設計を行った。 土室小学校等6か所のマンホールトイレ工事を行い、便器等の上部構造物及び付属物を整備した。 ⇒「災害用トイレ対策基本方針」に基づき、整備を継続する必要がある。	継続	598 ※他に前年度からの繰越あり (159,704)	継続	—	都市創造部下水河川企画課、下水河川事業課、危機管理室

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
5	貯水機能付給水管の整備	南海トラフ地震など今後発生が見込まれる大規模地震に備え、「貯水機能付給水管整備計画」に基づき、管路の耐震化に時間を要する小中学校に、断水時においても一定量の水を確保できる貯水機能付給水管を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発災時に地域住民等が円滑に運用できるように、操作方法の研修や訓練に活用する貯水機能付給水管を水道部庁舎敷地内に設置した。 ⇒「貯水機能付給水管整備計画」に基づき、小中学校への整備を進めていく必要がある。 	継続	53,850	継続	継続	水道部総務企画課、危機管理室
6	総合雨水対策の推進	総合雨水対策を推進するため、「総合雨水対策基本方針」及び「総合雨水対策アクションプラン」に基づき、雨水貯留施設の整備など各種事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・局所的に浸水が発生している地域で対策工事等を行った。 ⇒「総合雨水対策アクションプラン」に基づき整備を継続する必要がある。 	継続	189,000	継続	継続	都市創造部下水河川企画課、下水河川事業課
7	消防緊急情報システムの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・消防緊急情報システムは、119番通報を受信して処理するほか、消防・救急活動などの円滑な消防業務を可能とするため、安定稼働を確保しておく必要がある。 ・システムを構成する主要な装置の一部である消防救急デジタル無線設備について、平成25年の整備後13年が経過し、老朽化しているため、更新して消防活動に不可欠な通信の安定性を確保し、災害対応能力向上を目指す。 ・島本町との共通規格の設備導入や機能・運用方法等について、検討を進めるとともに、令和8年度に実施設計を行い、令和10年度の更新を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高槻市島本町消防指令センター」について、消防指令事務協議会を開催するとともに、令和5年度に公募型プロポーザルで選定した事業者とシステム構築に係る調整及び整備を行い、令和7年10月に島本町と共同運用を開始した。 ⇒消防指令センターの更新により、各種通報への受信体制の強化、相互応援体制の迅速化、大規模災害時の対応強化を図った。 	継続	11,000	継続	継続	消防本部消防総務課、指令調査室

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
8	登下校時の児童の安全確保	学校、保護者、地域住民の連携により、通学路の点検を行い、必要な安全対策を講じるとともに、セーフティボランティアや「こども見守り中」の旗による見守り活動を推進し、児童の安全確保を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の一斉点検調査及び連絡窓口等に寄せられた整備要望に対して、関係機関等と連携し、改善・調整を行った。 セーフティボランティア及び「こども見守り中」の旗の掲示協力等、「地域の子どもは地域で見守る」活動を推進した。 ⇒学校、保護者、地域住民、関係機関との連携の下、継続的に取り組むことができている。	継続	3,841	継続	継続	教育委員会事務局学校安全課
9	防犯カメラ設置による犯罪の抑止	公園内の犯罪を抑止するとともに、事件・事故等の発生時に的確に対応することを目的に、主要な公園に防犯カメラを設置する。（新規設置予定公園：駒音公園）	<ul style="list-style-type: none"> 駒音公園に防犯カメラを設置した。 ⇒必要な公園に防犯カメラの設置を進める。	継続	2,322	継続	継続	都市創造部公園課
		市内の都市公園のうち規模が大きく、比較的広範囲から利用者が集まる公園に防犯カメラを設置する。	<ul style="list-style-type: none"> 高槻城公園北エリアに防犯カメラの設置を進める。 ⇒引き続き、設置を進める。	継続	— ※「5-7 高槻城公園の整備」に含む	継続	継続	街にぎわい部歴史にぎわい推進課
		市域における犯罪を抑止するため、通学路や駅周辺を中心とする市街地に設置している街頭防犯カメラ810台を適切に運用管理する。また、防犯カメラを新たに設置する自治会等を支援するため、設置費の一部補助事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 通学路や市街地に設置している街頭防犯カメラ810台を適切に運用した。また、防犯カメラを新たに設置する自治会を支援するため、設置費に対する一部補助事業の実施に加え、街頭防犯カメラの設置効果を更に高めるため、設置に関する啓発板を配布した。 ⇒引き続き、街頭防犯カメラを適切に運用管理するほか、自治会等の防犯カメラ設置を支援することで、犯罪抑止の取組を推進する。	継続	52,998	継続	継続	危機管理室

3 子育て・教育の環境が整ったまち

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
1	認定こども園化等の推進	「市立就学前児童施設の在り方に関する基本方針」及び「第3次市立認定こども園配置計画（令和7年度～11年度）」に基づき、就学前児童施設の整理・集約、認定こども園化等を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 本計画に基づき、令和9年度に民間認定こども園化を予定している磐手保育所について、学識経験者や保護者等で構成する「民間化認定こども園運営事業者選定委員会」を開催し、移管先事業者を決定した。 令和8年度に認定こども園化を予定している阿武野幼稚園・芥川幼稚園について、給食棟の整備及び内部改修工事を実施した。また、令和9年度に認定こども園化を予定している松原幼稚園・北清水幼稚園について、実施設計及び内部改修工事を実施した。 ⇒教育・保育環境の向上に向けて、引き続き計画を着実に進める必要がある。	継続	736,187	継続	継続	子ども未来部保育幼稚園総務課、保育幼稚園事業課、保育幼稚園指導課
2	保育所等の整備促進	市内で保育所等を設置・運営する又は運営を行おうとする社会福祉法人等に対する施設整備費の一部補助を行う。また、乳児等通園支援事業や小規模保育事業の実施を予定している事業者に対する施設改修費等の補助を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 民間認定こども園に対する大規模修繕費の補助（4か所） 民間認定こども園等に対する中規模修繕費等の補助（3か所） 小規模保育事業に対する施設整備費の補助（3か所） ⇒引き続き良好な保育環境の維持・向上のため補助を実施する必要がある。	継続	229,589	継続	継続	子ども未来部保育幼稚園指導課
3	送迎保育ステーション事業の推進	多様な保育ニーズへの対応と、3歳児の受け皿の確保、市内の保育資源の効果的活用を目的に、送迎保育ステーション事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 高槻認定こども園分室で預かった児童を専用バスで在籍園へ送迎を行った。 ⇒保育需要への対応として引き続き事業に取り組む必要がある。	継続	16,849	継続	継続	子ども未来部保育幼稚園総務課、保育幼稚園事業課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
4	【新】2歳児保育料無償化の実施	特定教育・保育施設等を利用する2歳児クラスの保育料について、市独自の無償化を実施する。	—	—	446,127 ※歳入見込額の減 (150,028)	継続	継続	子ども未来部保育幼稚園事業課
5	学童保育待機児童解消	待機児童解消のため、待機児童の発生状況に応じ、民間事業者の活用による受入枠の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童の解消及び高学年児童の受入れを進めるため、民間学童保育室への助成（運営事業費42件、環境整備事業費3件）を行った。 ⇒待機児童の解消に向け、引き続き民間事業者の活用による受入枠拡大を図る必要がある。 	継続	603,458	継続	継続	子ども未来部子ども青少年課
6	小学生の放課後の居場所づくり	子どもが施設等で安全・安心に過ごし、多様な活動を行うことができる子どもの居場所づくりを推進するため、市立小学校において、小学生を対象とした「見守り付き校庭開放」を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 市立小学校20校において「見守り付き校庭開放」を実施し、運動場や体育館などの子どもが安全・安心に過ごせる活動場所を提供した。 ⇒居場所づくりを推進するため、実施校を40校に拡大する必要がある。 	拡充	153,298	継続	継続	子ども未来部子ども青少年課
7	妊娠・出産・子育て包括相談支援の実施	妊娠期から出産・子育て期を通した切れ目のない支援を行うことを目的として母子保健コーディネーターによる相談支援等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届提出時に母子保健コーディネーターによる面接を実施した。 妊娠期から切れ目のない支援を行う観点から、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援（妊婦等包括相談支援事業）と経済的支援である妊婦のための支援給付を組み合わせ実施した。 ⇒今後も各事業の検証を行うとともに、国の動向を注視しながら、充実を図っていく必要がある。 	継続	669,081	継続	継続	子ども未来部子ども保健課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
8	児童虐待防止対策の推進	こども家庭センターの機能として、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な支援を行うため、母子保健と連携しながら専門的な相談対応や訪問等による継続的なソーシャルワーク業務を行うとともに、支援を要する子ども・妊産婦等へのサポートプランの作成や家庭支援事業等による支援を行う。また、高槻市児童虐待等防止連絡会議の調整機関として、関係機関と密接に連携しながら、児童虐待等の早期発見、早期対応に取り組むとともに、未然防止のための周知啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な相談対応や訪問等による支援を実施した。また、未就園児童に対する見守り強化を図った。 ・関係機関とケース会議等により連携を図るとともに、未然防止のための周知啓発を実施した。 ・令和7年4月に子ども家庭みまもりセンターを設置し、支援の必要な家庭へのサポートプランの作成及び家庭支援事業等による支援を行った。 ⇒児童、家庭を取り巻く問題が複雑化する中、研修等の実施により、職員の専門性の更なる向上を図る必要がある。	継続	112,325	継続	継続	子ども未来部子育て支援課
9	子ども医療費の無償化	子育て中の保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の更なる充実を図ることで、子どもの健全な育成を図り、もって児童の福祉を増進することができるよう、令和7年4月診療分から子ども医療費助成の自己負担額を無償化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月診療分から、子ども医療の保険診療分と入院時食事療養費に係る自己負担額を無償化した。 ⇒制度移行後も、問題なく適正に業務を進めることができている。今後も引き続き事業を継続する必要がある。	通常	2,016,055	継続	継続	子ども未来部子ども政策課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
10	児童生徒1人1台端末を活用した教育の推進	全ての子どもたちの確かな学力を育成するため、1人1台端末を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組を進める。また、GIGAスクール構想第2期による、1人1台端末の計画的な更新を行い、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学習環境の整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究推進担当者会において、ICT活用を含めた授業づくりについて研究を行い、学校間の情報共有や1人1台端末の効果的な活用場面について事例紹介を行うなど、よりきめ細かなフォローアップを行った。 情報教育担当者会では、情報活用に係る調査を実施するなど、実態把握と活用の推進に向けた取組について協議を行った。 学識経験者や指導主事等による情報教育研修を教員向けに実施したほか、チャットの活用の推進等、各学校におけるICT活用に向けた取組を推進した。 メールマガジン「GIGAスクール運営支援センター通信」の発信のほか、事例共有や教材共有等を行った。 ⇒児童生徒1人1台端末を効果的に活用し、全ての子どもたちに対する主体的・対話的で深い学びの充実に向け、引き続き取組を進めることが必要である。	継続	663,198	継続	継続	教育委員会事務局教育政策課、教育センター

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
11	いじめ防止等の対策の推進	児童生徒の健全な成長を促し、自己指導能力の育成を目指すとともに、誰もが安全で安心できる学校づくりを実現するため、いじめ・不登校等の生徒指導上の課題についての未然防止、早期発見・早期対応等の対策や支援の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導に関するヒアリングを年2回実施し、各学校における生徒指導上の状況を把握し、課題解決に向けて適切な対応がなされるよう指導・助言を行った。 ・組織的かつ計画的な生徒指導体制を構築し小中連携を推進するために、小中学校の生徒指導担当者が情報共有・連携できる機会を積極的に設けた。 ・各学校が策定している「いじめ防止基本方針」の取組が、適切に推進されるよう指導・助言を行った。 ⇒課題が多様化・複雑化する中で、スクールソーシャルワーカー等の専門家の活用を一層促進することで、校内の生徒指導体制の充実を図り、児童生徒理解に基づいた組織的な対応を行う必要がある。	継続	41,138	継続	継続	教育委員会事務局教育指導課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
12	実践的な安全教育の実施	児童生徒の安全に関する主体的な行動力を育成するため、セーフティプロモーションスクール認証校の取組成果を他校に普及することを通じて、市内全校における学校安全に係る取組の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> セーフティプロモーションスクール認証校での研究・実践を市内小中学校へ普及することを通じて、各学校でのセーフティプロモーションスクールの理念に基づく実践的な学校安全に係る取組を推進した。 小中学校における交通安全、防犯、防災に関する教材として、安全教育副読本を作成し、学校現場で活用した。 ⇒認証校の取組成果を他校へ普及することで、学校安全に対する取組の更なる充実を図る必要がある。また、安全教育の質・量の両面からの充実を図る必要がある。	継続	5,916	継続	継続	教育委員会事務局学校安全課
13	義務教育学校の推進	義務教育9年間の一貫性・連続性のある教育活動を通じて、児童生徒の学力向上や豊かな人間性の育成を目指すため、義務教育学校の設置について、学校教育審議会での審議を踏まえた検討を進め、基本方針の策定及び実施計画の策定に着手する。	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育審議会を4回開催し、本市の義務教育学校設置の在り方について、調査及び審議を行った。同審議会において、義務教育学校の設置に向けては、さらなる審議が必要とされ、令和7年度は中間報告の取りまとめまでを行い、事務局において課題の整理を行うこととされた。 ⇒事務局において課題を整理した後、審議会での審議を再開する。	継続	1,006	継続	継続	教育委員会事務局教育政策課
14	コミュニティ・スクールの推進	家庭・地域が学校教育に参画し、協働して子ども達の社会を生き抜く力を育成する仕組みとして、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を実施し、地域全体で子どもの成長を支える「地域とともにある学校づくり」を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 全中学校区に学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動推進員を委嘱した。 ⇒学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に取り組み、学校と地域が連携することにより、教育力の一層の向上に努める必要がある。	継続	47,222	継続	継続	教育委員会事務局教育指導課、教育総務課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
15	小中学校体育館への空調設備の設置	熱中症対策として教育環境の改善を図るとともに、災害時における避難所としての環境改善及び学校開放事業における環境改善を図るため、令和5年度から令和7年度の3か年で全小中学校の体育館に空調設備を設置する。	・全校への設置スケジュールに基づき、令和7年度は27校への設置を行い、全小中学校59校への設置を完了した。	完了	—	—	—	教育委員会事務局 学校安全課
16	民間を活用した新たな水泳授業の検討	民間事業者等による専門的な指導によって、児童の泳力及び体力の更なる向上を図るとともに、天候・気温に左右されない授業環境を確保する。	・小学校2校において、試行的に実施した。 ⇒今後は、試行実施における効果を踏まえ、対象校及び利用施設数を拡大して引き続き、試行実施を進めていく。	拡充	51,116	継続	継続	教育委員会事務局 教育総務課、 教育指導課

4 健やかに暮らし、ともに支え合うまち

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
1	がん検診の受診促進	関係機関と連携し、がんの早期発見・治療につながることができる環境を整備し、がん検診の精度管理を行い、実施方法の見直し等を行う。健康情報管理システムを活用し、効果的な受診勧奨を行う。	<ul style="list-style-type: none"> がん検診を医療機関（個別）及び保健センター等（集団）において無料で実施した。 健康情報管理システムを利用して、受診勧奨後、未受診者に再度受診勧奨を行う手法（コールリコール）を実施した。また、精密検査未受診者に対して、積極的な受診勧奨を実施した。 ⇒受診勧奨に係る取組については、一定の効果が出ている。	継続	877,123	継続	継続	健康福祉部健康づくり推進課
2	自殺予防の推進	「支え合おうところといのち～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す～」を基本理念とした「第2次高槻市自殺対策計画」に基づき、自殺予防等の精神保健に関する普及啓発、ゲートキーパー（早期対応に中心的役割を果たす人材）の養成、自殺未遂者等への相談支援等を行う。また、自殺対策連絡協議会等を通じた関係機関との連携強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策連絡協議会にて多分野の関係者により、自殺対策に関する情報共有、協議を行った。 自殺未遂者等相談支援事業等により、自殺未遂者やその家族に対し関係機関と連携した支援を実施した。 市内大学生等を中心にゲートキーパーの養成研修を実施した。 広報誌及び市ホームページ、市内各施設へのポスター掲示、リーフレット配布、市バス車内広告、二十歳のつどいでの啓発物品配布等、自殺予防啓発事業を実施した。 ⇒関係機関と連携し、事業を実施することができた。引き続き相談支援の更なる充実に向けて取り組む。	継続	12,371	継続	継続	健康福祉部保健予防課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
3	健康医療先進都市の推進	すべての市民が健康でいきいきと暮らすことができ、質の高い医療・介護が受けられる「健康医療先進都市たかつき」を推進するため、令和6年2月に締結した関係機関との連携協定に基づき、相互に連携・協力し、健康、医療に関する施策の更なる充実と情報発信の強化等に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 市の施策等について相互に連携・協力して実施するとともに、各機関の取組に係る積極的な情報発信等を行った。 各種広報媒体を活用し、本市の恵まれた医療体制や先進的な施策等の情報発信を行った。また、健康、医療施策の更なる充実のため、関係機関で構成する連携会議等を開催し、意見交換等を行った。 成人ピロリ菌検査について新たに20～29歳を対象に加え、切れ目のない全世代型の胃がん対策の実現に取り組んだ。 ⇒引き続き、施策の充実に取り組む必要がある。	継続	11,211	継続	継続	健康福祉部健康医療政策課、健康づくり推進課
4	たかつき未来パークの整備	魅力ある地域共生社会モデルとして、全ての人が安心して、楽しく過ごせるにぎわいや交流の拠点となるたかつき未来パークを令和11年度の運営開始に向けて整備する。	<ul style="list-style-type: none"> たかつき未来パークの整備に向け、事業者の選定を行い、事業契約を締結した。また、ワークショップを行うなど気運醸成に取り組んだ。 ⇒整備に向けて、引き続き計画的に取り組む必要がある。	継続	890,642	継続	継続	健康福祉部地域共生社会推進室

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
5	介護予防の推進	前期高齢者（65歳から74歳まで）の時期から関心を持って健康づくりや介護予防に取り組める機会を充実するとともに、「ますます元気体操」及び「もてもて筋力アップ体操」を広く市民に普及啓発する「介護予防マイスター」を養成し、住民同士の支え合いによる介護予防の取組を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老と介護予防の普及啓発を目的としたイベント・講演会「すこやかフェスタ」を9月に開催した。また、「もてもて筋力アップ体操」の魅力発信として、介護予防マイスターとともに、「もてきんフェスティバル」を11月に開催した。 ・「すこやかエイジング講座」を始めとする介護予防教室の実施やオンライン介護予防教室等により、介護予防に取り組む機会の充実に努めた。また、「もてもて筋力アップ体操」の動画配信の充実や市営バス車体・車内広告、広報番組（「みんなでもてきん体操」）の活用等、フレイル予防啓発を強化した。 ・「ますます元気体操」及び「もてもて筋力アップ体操」の効果と楽しさを市民に広める「介護予防マイスター」を4名養成し、普及啓発活動を強化した。 ・大阪医科薬科大学と共催でサロンを立ち上げるなど、体操拠点の充実を図った。 <p>⇒生活の多様化に伴い高齢者の介護予防と社会参加の在り方は変化しており、様々な機会を捉えて、前期高齢者の時期から介護予防活動に参加する契機を作る必要がある。</p>	継続	71,550	継続	継続	健康福祉部長寿介護課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
6	認知症総合対策事業の充実	令和5年6月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立し、「認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができる」ことが目的として掲げられた。認知症は誰でもなりうるものであり、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会の実現を目指し、各施策を推進していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者を対象に意思決定支援の研修を実施し、多職種連携を図った。 ・世界アルツハイマー月間に合わせ、オレンジ色のライトアップ、庁内掲示スペースにおける啓発活動を実施した。 ・介護予防の取組において認知症予防に関する健康教育を行った。 ・市民による見守り体制を整備するため、地域住民を対象に、行方不明高齢者を見かけた場合の模擬訓練として「安心声かけ運動」を行った。 ・認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に対する正しい理解促進を図るとともに、認知症当事者も参加するイベントを実施した。 ・認知症サポーター養成講座を受講した方に対し、認知症パートナーを養成するための講座実施、当事者の集いの場への参加やボランティア活動を通して「チームオレンジ」の構築を図った。 ⇒当事者の参加拡大により、当事者の想いを聴くことや、支援者や地域の人に認知症の理解促進を図る機会が増え、啓発活動が進んだ。引き続き、認知症総合対策事業の充実に取り組む必要がある。	継続	27,144	継続	継続	健康福祉部福祉相談支援課、長寿介護課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
7	グラウンド・ゴルフ場の整備	高齢者の健康づくりや社会参加促進、多世代交流の推進のため、グラウンド・ゴルフ場の整備に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> グラウンド・ゴルフ場の整備に必要な敷地部分にある浄水処理施設を令和8年度にかけて解体する。 グラウンド・ゴルフ場の整備工事（令和8・9年度実施予定）に向け、実施設計を行った。 ⇒整備に向けて、引き続き計画的に取り組む必要がある。	継続	269,630	継続	—	健康福祉部長寿介護課

5 魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
1	都市型ツーリズムの推進	高槻市観光協会、高槻商工会議所、市が連携し、更なる観光振興のため、「オープンたかつき」の発展的転換を推進し、交流人口と関係人口の増加及び地域経済の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「オープンたかつき」において、安満遺跡公園等を活用した中規模イベントを開催した。 たかつき観光アプリのマップ機能に、スポットのカテゴリーを増やし利便性を向上させた。 ⇒引き続き、観光施策を推進する必要がある。	継続	27,000	継続	継続	街にぎわい部観光シティセールス課
2	史跡芥川城跡の保存・活用	史跡芥川城跡について、より良い保存と活用に向け、整備基本計画を策定し、整備の設計等を行うとともに、遺構の確認調査を実施する。あわせて史跡地の公有化を進める。	<ul style="list-style-type: none"> 芥川城跡の普及啓発のため、講演会の開催、御城印・武将印等の頒布、アプリ「AR芥川城」の活用、全国山城サミット大会でのPRを行った。 史跡地について、用地測量を行うなど公有化の取組を進めた。 史跡芥川城跡保存活用計画の策定を行った。 ⇒より良い保存と活用に向けて着実に取組を進める必要がある。	継続	618,890	継続	継続	街にぎわい部文化財課
3	観光プロモーション等の実施	観光プロモーション「BOTTOたかつき」を事業化し、対象者に合わせた企画と情報発信を実施することで、プロモーションの更なる強化を図り、市外来訪者の増加につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> 市内書店と連携したキャンペーンとトークイベントを開催した。 著名な歴史学者及び歴史好きタレントを起用し、今城塚古墳に関するトークイベントを東京で開催した。 インターネットの生配信を活用するなど、「将棋のまち高槻」の魅力を市内外に発信した。 SNS等を活用した市民参加型のグルメ企画を実施した。 ⇒引き続き、効果的な情報発信を行っていく必要がある。	継続	37,217	継続	継続	街にぎわい部観光シティセールス課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
4	定住促進プロモーションの実施	生産年齢世代の定住促進を目的としたプロモーションを展開し、良好な都市イメージの定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ホームページのリニューアルを実施するとともに、定住促進アンバサダーのインタビュー記事等の新規コンテンツを追加した。 ・東京圏・関西圏においてインターネット広告を配信した。 ・東京圏の屋外広告媒体に本市PR動画を掲出した。 ⇒特に人口移動が多い、20代から30代を対象とした取組を継続する必要がある。	継続	15,583	継続	継続	街にぎわい部観光シティセールス課
5	ホテル等の立地促進	まちなにぎわいの創出及び都市機能の充実を図り、もって本市の経済の活性化及び市民福祉の向上に資するため、「ホテル及び旅館の誘致等に関する条例」に基づく奨励制度を活用し、ホテル及び旅館の立地を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「芥川町ホテル事業貸付地」に誘致したコンベンション機能付きホテル等に対し、奨励制度に基づく支援等を行った。 ⇒引き続き、奨励制度を活用し、ホテル及び旅館の立地を促進する必要がある。	継続	4,939	継続	継続	街にぎわい部産業振興課
6	将棋のまち周辺整備	関西将棋会館の移転オープンを契機として、将棋のまちとしてのまちづくりをさらに推進するため、JR高槻駅北側の関西将棋会館を中心としたエリアにおける今後の整備方針を定める 「（仮称）高槻市将棋のまちづくり推進プラン」を策定し、「将棋のまち高槻」を感じられる整備等を進めることで、駅周辺のにぎわい創出による交流人口の増加に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・JR高槻駅構内外の装飾、市バスや大阪モノレールのラッピング等を通じ、「将棋のまち高槻」のPRを図るとともに、関西将棋会館移転1周年を記念して、棋士らによるJR高槻駅の構内アナウンスを実施した。また、「（仮称）高槻市将棋のまちづくり推進プラン」の策定に向けて取り組んだ。 ⇒引き続き、将棋のまちを感じられる整備を進め、にぎわい創出に努めていく必要がある。	継続	100,470	継続	継続	街にぎわい部将棋のまち推進課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
7	高槻城公園の整備	城下町再生の一環として周辺一帯の歴史的景観に配慮しながら公園の整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> 高槻城公園北エリアの整備に着手するとともに、民間店舗の設置に向けた取組を進める。 ⇒高槻城公園北エリアの整備に着手するとともに、民間店舗の設置に向けた取組を進めた。引き続き、令和8年度末の北エリア一次開園に向けて整備を進める必要がある。 	継続	1,621,302	継続	継続	街にぎわい部歴史にぎわい推進課
8	摂津峡公園の再整備	隣接する史跡芥川城跡や摂津峡青少年キャンプ場と連携し、摂津峡公園の豊かな自然環境をいかすとともに、摂津峡エリア全体の魅力向上に資する再整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> 摂津峡エリア全体の魅力向上に向け、キャンプ場のリニューアルの方向性についての検討に着手した。 ⇒摂津峡公園の再整備に向けたリニューアル方針を整理した。このリニューアル方針に基づき取組を進める必要がある。 	継続	177,931	継続	継続	街にぎわい部歴史にぎわい推進課、都市創造部公園課
9	農林業の6次産業化の推進	地域資源を活用し、新たな付加価値を生み出すため、関係機関等と連携を図り、農林業者と事業者のマッチングの機会創出や販路開拓等の支援を行うことで6次産業化に取り組む農林業者の機運醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携を図り、6次産業化に取り組む農業者の支援および情報共有を行った。 ⇒引き続き、6次産業化に関する取組を推進する必要がある。 	継続	0	継続	継続	街にぎわい部農林緑政課
10	森林の災害復旧	平成30年台風第21号による森林内の風倒木被害の早期復旧を図るため、大阪府森林組合が実施する森林の復旧事業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府森林組合が被害森林において実施する被害木の伐採・搬出、作業路の開設、伐採跡地への造林に対し、大阪府等の関係機関と連携して支援を行った。 ⇒引き続き、関係機関と連携した支援を行い、森林の復旧を図る必要がある。 	継続	25,631	継続	継続	街にぎわい部農林緑政課

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
11	物価高騰等の影響を受ける事業者への支援等	物価高騰等の影響を受けた事業者を支援するとともに、市民の家計への支援を行うため、プレミアム付商品券を発行し、地域経済の底上げを図る。	<ul style="list-style-type: none"> 第7弾プレミアム付商品券を発行し、市内飲食店や小売店等並びに市民の家計への支援を行った。 ⇒第8弾プレミアム付商品券を発行するとともに、引き続き、物価高騰等の影響を踏まえ、事業者への適切な支援策を講じる必要がある。	拡充	— ※前年度からの繰越で実施 (4,092,985)	未定	未定	街にぎわい部産業振興課
12	企業誘致・定着の促進、創業支援等	市内産業の活性化を図るため、企業誘致及び既存企業の定着を促進するとともに、積極的な創業支援等の取組を展開する。また、ビジネスコーディネーターを市内の中小企業に派遣し、設備投資に関する支援やビジネスマッチング等を行うことで、市内産業の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地促進制度を活用している企業に、奨励金の交付を行うとともに、市内外の企業へ同制度を周知した。 創業に関する相談を受ける「ワンストップ窓口」において、相談内容に応じた支援メニューを紹介する等の支援を行った。 創業を検討している方や創業後間もない方等を対象にたかつき創業塾を開催し、創業に関する基礎知識の習得講座やビジネスプラン作成支援を行った。 飲食店・小売店の新規出店に係る店舗改装費を補助する制度を拡充し、さらなる創業促進を図った。 市内企業へビジネスコーディネーターを派遣し、各企業が抱える課題の解決やビジネスマッチングを行い市内産業の活性化を図った。 ⇒上記取組を継続し、市内産業の活性化に取り組む必要がある。	継続	198,721	継続	継続	街にぎわい部産業振興課

6 良好な環境が形成されるまち

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
1	温暖化対策の推進	近年の急激な気候変動の要因となっている温室効果ガスの排出を抑制するため、再生可能エネルギーの普及促進や、省資源・省エネルギーの取組を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者が設置する再エネ・省エネ機器への補助を行った。 ・公共施設4施設において省エネ改修を行うとともに、次年度の省エネ改修の事業者選定、次年度以降における改修候補施設の選定等を行った。 ・公共施設8施設においてLED化を行うとともに、次年度以降における対象施設の選定を行った。 ⇒温室効果ガスの排出抑制のためには、引き続き本事業を通じた再エネ・省エネ機器の普及促進、公共施設の効果的な省エネ改修に取り組む必要がある。	継続	1,504,249	継続	継続	市民生活環境部 環境政策課ほか
2	地域環境の保全	大気測定局による常時監視や河川水質等の定期測定により地域環境の状況把握を行うとともに、事業者へ適切な指導を行うことで事業活動に伴う環境負荷の低減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・大気、水質、騒音等の定期的な測定を適切に実施し、環境基準等への適合状況を確認した。 ・立入調査や行政測定を通じて事業者へ法令遵守等の指導を行った。 ⇒製造業を始めとする活発な事業活動と快適な市民生活の両立のためには、継続的に本事業に取り組む必要がある。	継続	60,151	継続	継続	市民生活環境部 環境政策課
3	ごみ処理施設長寿命化の推進	ごみの適正かつ安定的な処理を図るため、老朽化した第二工場の長寿命化改修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹的施設整備工事を実施した。（令和12年度までの継続事業） ・老朽化した設備の更新・修繕を行った。 ⇒安定したごみ処理を行うため、第二工場を稼働させながら、引き続き長寿命化改修を進める必要がある。	継続	793,327	継続	継続	市民生活環境部 エネルギーセンター

7 地域に元気があって市民生活が充実したまち

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
1	コミュニティ活動の推進	地域住民の連帯意識の向上と安全安心な魅力あるまちづくりの促進を図るため、高槻市コミュニティ市民会議や地区コミュニティが進める取組や防災活動等を支援する。 また、21コミュニティセンターの管理運営や維持管理、及び事業実施を支援し、地域の一層の活性化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 各コミュニティ組織に対し、活動に必要な経費の補助を行い、活動の促進を図った。また、令和8年度から新たにコミュニティセンターを開設する芥川及び北清水地区に対して、開設準備の支援を行った。 ⇒コミュニティ組織の維持や持続可能な地域自治の仕組みを形成するための支援策の検討が必要である。	継続	255,469	継続	継続	市民生活環境部 コミュニティ推進室
2	市民協働や市民公益活動の推進	市民公益活動サポートセンター管理運営委員会の組織強化及び運営の自立化に向けた取組を支援するとともに、NPOと行政との協働事業を推進する。 また、NPOの設立認証等の事務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 同委員会に対し、活動に必要な経費の補助を行い、活動の促進を図った。 市民公益活動サポートセンターとの共催により「高槻まちづくり塾」「たかつきNPO協働フェスタ」を実施することで、市民協働に対する理解を深め、市民公益活動の促進を図った。 ⇒更なる市民公益活動の促進を図るため、より効果的な事業実施を検討する必要がある。	継続	8,464	継続	継続	市民生活環境部 コミュニティ推進室
3	将棋振興の取組	（公社）日本将棋連盟との包括連携協定に基づき、アマチュア将棋大会の実施や小学校1年生への高槻産木材を使った将棋駒の配布を行う。 また、「高槻将棋まつり」の開催などを通じて、将棋の普及啓発を図る。 また、タイトル戦等の誘致を通じて、将棋文化の振興を図るとともに市の知名度向上や地域活性化につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> 市内在住の小学校1年生への高槻産木材製将棋駒の配布や「高槻将棋まつり」の開催等を通じ、将棋の普及啓発を図った。また、朝日杯将棋オープン戦やその関連イベントを誘致・開催することで、市の知名度向上や地域の活性化を図った。 ⇒引き続き、将棋文化の振興と裾野拡大の取組を推進する必要がある。	継続	96,586	継続	継続	街にぎわい部将棋のまち推進課

8 効果的・効率的な行財政運営が行われているまち

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
1	「みらい創生」に向けた取組	「みらいのための改革方針」に基づき、「みらい創生」に向けた取組を継続・発展させ、「強い財政をつくる」「強い組織をつくる」「輝く未来をつくる」を実現することにより、「大阪の高槻」から「日本の高槻」へと更なる飛躍を遂げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・改革方針に基づく取組を推進した。 ・みらい創生審議会における調査審議を行った。 ⇒これまでの成果を踏まえ、改革方針に基づく取組を引き続き推進する必要がある。	継続	182	継続	継続	総合戦略部みらい創生室
2	働き方改革による業務効率化の推進	今後の厳しい財政運営が想定される中で、市民サービスの質を維持し、組織活力の向上を図るため、行政事務の効率化及び生産性向上に向けた取組を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「SMARTワークプラン」に基づき、働き方改革を推進するため、AI音声認識・議事録作成システムやweb会議を積極的に活用した。 ・会計年度任用職員の報酬等支給事務のシステム移行により全庁的に業務効率化を図ったほか、継続的に勤務時間や休暇制度等の人事諸制度を見直してきており、全体的には時間外勤務時間数を大きく増加させることなく、対応することができた。 ⇒引き続き、各所属の状況把握に努め、より良い職場環境の構築を図っていくとともに業務改善に向けた取組を一層推進する必要がある。	継続	792	継続	継続	総合戦略部みらい創生室、総務部人事企画室

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
3	ICTの活用による業務効率化	業務の効率化や市民サービスの向上を図るため、全庁で利用できる生成AIの環境整備を行うとともに、その他のICTの活用について引き続き検討する。 また、行政手続のオンライン化を推進するとともに、本市のDX推進の中核を担う職員の育成に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 生成AIについて、課長級以上の職員を対象とした研修を実施する等、浸透を図った。 ⇒環境整備と併せて更なる浸透に向けた取組を行う。 就学援助手続のオンライン化など、効果は高いが難易度も高い手続のオンライン化について支援を行った。 ⇒引き続き、行政手続のオンライン化を支援、推進する必要がある。 DX推進コアリーダーを任命し、部局を横断した課題解決に向けた取組を通じた育成を行った。 ⇒引き続き取組を継続する。 	継続	28,389	継続	継続	総合戦略部DX戦略室
4	情報システムの最適化・再構築の推進	国の「自治体DX推進計画」に基づき、基幹系システムを標準仕様準拠システムに移行する。	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの標準化 基幹20システムについて、関係部局がスケジュールや課題を共有しながら、住基や市民税システム等、約半数を標準準拠システムへ移行した。 ⇒残りのシステムについて、令和8年度以降の移行に向けた作業を計画的に進める必要がある。 	継続	386,689	完了	—	総合戦略部DX戦略室ほか対象システム所管部局

番号	主要事業名	概要（3か年の内容を含む）	令和7年度実績（見込み）・評価	方向	3か年の計画			所管
					令和8年度 当初予算（千円）	9年度	10年度	
5	キャッシュレス決済の導入	行政手続のオンライン化の更なる推進のため、本市の電子申請システムに導入したキャッシュレス決済について更なる活用を図る。	・令和5年12月に導入したキャッシュレス決済について、住民票、独身証明書、身分証明書及び市・府民税（所得・課税）証明書の郵送請求に活用している。 ⇒今後も行政手続オンライン化の更なる推進に活用していく。	継続	600	継続	継続	総合戦略部DX戦略室
		地方税共同機構が運営するeLTAXを活用し、eL-QRを利用した公金収納のデジタル化に対応する。	—	—	41,537	継続	継続	会計課、健康福祉部国民健康保険課
6	【新】窓口DXの推進	多くの市民が訪れる住民異動窓口を中心に、市民の利便性の向上や職員の事務効率化を図るため、いわゆる「書かない窓口」の導入を始めとする窓口DXを推進する。	—	—	127,146	継続	継続	市民生活環境部市民課、総合戦略部DX戦略室ほか
7	公共施設アセットマネジメントの推進	施設の長寿命化や再配置について、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の進捗管理と継続的な見直しを行う。	・公共建築物等の個別施設計画の更新や進捗管理を行った。 ⇒今後、計画の進捗管理と継続的な見直しが必要である。	継続	2,472	継続	継続	総合戦略部アセットマネジメント推進室ほか
8	公有財産の貸付け・売却等の推進	財産の利活用の検討を行うとともに、普通財産の貸付け・売却を推進する。	・公用廃止となった特定公共物等の普通財産の売却を行った。 ⇒引き続き、普通財産の売却等を推進する必要がある。	継続	15,347	継続	継続	総合戦略部アセットマネジメント推進室